

2019(平成31)年度青梅市自治会連合会第10支会事業報告

第10支会を構成する河辺町は、JR河辺駅を中心に都市基盤の整備された商業・文化的な市街地として、また、地域内にはわかぐさ公園や多摩川の清流など、自然にも恵まれた便利で住み良い環境の街として発展してきました。

近年、第10支会地域においても自治会加入率の低下が進み、老々介護や一人暮らし高齢者の増加など、いざという時の地域や隣近所で支え合う「安全」・「安心」の確保に不安と課題を抱えています。

2019(平成31)年度も、全国的に、台風や大雨、地震などの災害がありました。特に、10月の台風19号では、青梅市でも2,200人以上の避難者が発生するなど、いつ、いかなる時に災害が襲いかかってくるのか、予断を許さない状況にあることを改めて実感したところであります。

第10支会では、地域の安全・安心に備えるとともに、住民自らが防災力の向上に取り組む「自助・互助・近助・共助」の取り組みを推進してきました。さらに、各自治会および各種関係団体ならびに会員の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、「地域の活動と連携」に努めてまいりました。

このような状況を踏まえ、2019(平成31)年度は、霞台第1住宅自治会および河辺都営住宅自治会とも連携し、「地域住民の防犯・防災・交通安全・環境美化等の住民意識の高揚」による「安全で安心して暮らせる街づくり」を目指し、以下のような事業を推進しました。

1 自治会相互の情報交換

定期総会、定例自治会長会議のほか随時会議等を開催し、自治会運営の推進を図りました。

また、体育委員会においては、各種体育事業推進のための部会を設け、事業の円滑な運営に努めました。

(1) 定期総会 4月21(日)

(2) 自治会長会議 1 2 回

(3) 体育委員会会議 2 回

同 部会等 1 4 回

2 自治会未加入者の加入促進

各自治会役員による未加入の世帯や新築住宅などへ加入を働きかける「加入促進リーフレットの配布」、および「スマイルカード」の周知等、加入促進活動を行いました。

また、河辺市民センターにおいて、第10支会の活動状況の写真展示を常時行い地域住民へ広く周知、文化祭へ参加するとともに、ポスターの掲示やのぼり旗を立てて自治会への加入を呼びかけました。

3 自治会役員等の親睦を図る事業

(1) 自治会役員研修旅行・施設見学会

6月1日(土)～2日(日)に茨城県常総市方面において、自治会役員等37名が参加した1泊2日の研修旅行を実施しました。平成27年9月関東・東北豪雨災害のうち、鬼怒川災害について、茨城NPOセンター・コモンズによる説明や活動を学習するとともに被災地である鬼怒川決壊場所やその周辺の被害と復興の状況などを視察しました。

また、9月16日(月)には、小平市ふれあい下水道館およびボートレース多摩川の施設見学会を38名の参加で行いました。

(2) 河辺市民センター文化祭

10月19日(土)～20日(日)に、市民センター利用団体のほか、第10支会役員や河辺地区の高齢者クラブおよび地域の自治会員等が参加する「河辺市民センター文化祭」が行われ、第10支会では焼きそばの模擬店を出店いたしました。

4 自主防災組織の充実と住民意識の高揚を図るための事業

災害が発生した際、地域住民と関係機関が一体となって人命、財産の安全を図るとともに、訓練を通じて地域住民の防災意識の高揚を図るため、9月1日(日)に河辺北1ブロック(河辺町7・8丁目自治会、河辺都営住宅自治会)を担当地区として、222

人の参加を得て、河辺地区の各自治会・関係団体および消防署と連携した「河辺地区防災訓練」を若草小学校で実施しました。

6月30日（日）には、青梅市土砂災害対応訓練、水防訓練が河辺小学校で行われ、河辺地区からは208人が参加し、避難訓練や起震車、応急救護などの体験訓練に参加しました。併せて、43人の参加を得て土砂災害出前講座を行い啓発に努めました。

避難行動要支援者支援対策として、防災訓練に併せ安否確認を行うなど、各自治会において要支援者支援活動を行いました。

また、防災士の育成に努め、現在5人の方が活躍しております。

なお、「河辺地区防災対策委員会」、「河辺地区女性防火防災の会」へ助成金を交付しました。

5 安全で安心して住める街づくりを図るための事業

6月15日（土）、各種関係団体等の連携により、関係者42名の出席のもと、「河辺地域の安全を守る会」の総会が開催されました。

また、8月21日（水）、22日（木）、23日（金）と12月7日（土）および14日（土）には、関係諸団体協力のもと、延べ140人の参加者を得て、合同安全・環境巡回パトロールを行ない、青梅防犯協会の青色パトロールカーを借用しての犯罪防止の呼びかけを行うなど地域の安全の確保に努めました。併せて、たばこのポイ捨て防止や環境美化をアピールしました。

そのほか、各学区PTA、青少年対策第10支会地区委員会および各自治会等においても、それぞれ独自にパトロールを実施しました。

なお、「河辺地域の安全を守る会」に助成金を交付しました。

6 コミュニティ事業の推進

(1) 住民の体力づくりのための事業

10月6日（日）、河辺小学校において「第39回市民運動会」を、8月10日（土）、わかぐさ公園少年野球場において「ファミリーゴルフ大会」を、12月1日（日）、総合体育館において「ビーチボール大会」を実施しました。「ビーチボール大会」当日に実施された奥多摩溪谷駅伝競走大会に初めて参加し6位の

成績を収めました。なお、3月に実施を予定した「歩こう会」は新型コロナウイルス拡大防止のため中止となりました。

また、体育委員会では、「研修旅行」を実施し、各地区相互の親睦と連携に努めました。

(2) 環境美化運動の実施

河辺地区関係諸団体の積極的な協力により、公園の清掃、美化デー、資源回収のほか各自治会、子ども会、高齢者クラブ等を中心として花の植栽活動を行いました。

また、8月4日（日）の「多摩川1万人の清掃大会」では、河辺地区環境美化委員会、青少年対策第10支会地区委員会の協力により277人が参加し、多摩川の環境美化活動を行いました。

なお、「河辺地区環境美化委員会」に助成金を交付しました。

(3) 青少年健全育成事業

6月22日（土）、自治会等関係諸団体集合の下、「青少年健全育成連絡協議会」が開催されました。

また、啓発用立看板の清掃、ジャガイモ掘り体験事業、親子ふれあい綱引き大会の開催および防犯・安全パトロール等を通じて、青少年健全育成事業を行いました。

なお、「青少年対策第10支会地区委員会」に助成金を交付しました。

7 市政等への協力

各自治会は、市および関係官庁からの依頼にもとづき、回覧配付やポスターの掲示などを日常的に行いました。また、市主催の「防災講演会」や、青梅警察署および青梅消防署と連携した「防犯」「防火防災」等の各種事業に積極的に参加しました。

そのほか地域の代表として「河辺市民センター運営協議会」に、自治会連合会役員として「総合病院運営委員会」、「青梅市国民健康保険運営協議会」および「青梅しみどりと水のふれあい事業推進協会」等の会議に支会長が出席しました。

8 自治会連合会および各種公益団体への協力

自治会連合会の各種会議・行事への出席、地元消防団（第2分

団第6部、第8分団第4部)への激励のほか、青梅防犯協会等
区内外の各種公益団体の総会・会議などに出席し、関係諸機関・
団体と地域との連携に努めました。

また、東京都共同募金会の主催する赤い羽根共同募金をはじめ、
青梅市社会福祉協議会の会費、歳末助け合い運動ほか各種募金等
の取りまとめに協力しました。

2020(令和2)年4月19日

青梅市自治会連合会第10支会

支会長 加藤 久夫